

2015年4月6日(月)

協和エクシオ『年度末社長安全パトロール』を全国7カ所で実施 ～施工現場の事故撲滅に向け注意を喚起～

株式会社協和エクシオ

株式会社協和エクシオ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:小園文典)では、施工現場での事故撲滅に向けた取り組みとして、社長自らが施工現場を訪問し作業を実施する社員に注意を喚起する『年度末社長安全パトロール』を2月から実施していましたが、4月3日、7カ所目にあたる最後の訪問先である茨城県小美玉市の「石岡総合技術センタ」および近隣の施工現場を訪問し、全日程が終了しました。

当社では、「安全品質文化の浸透」をスローガンに年間を通じて労働災害防止運動を推進していますが、『年度末安全パトロール』は工事の竣工が集中する年度末に、社長の小園自らが技術センタおよびその近隣の施工現場を訪問し、作業を実施している社員を激励するとともに、安全意識の高揚を促すことを目的に実施しており、2014年度は7カ所(関東6カ所、関西1カ所)を訪問しました。

3日に行われたパトロールでは、まず「石岡技術センタ」を訪問し、朝礼で作業に従事する約90名に激励と注意喚起を促した後、工事長をはじめとする現場責任者25名を対象に意見交換会を実施し、施工現場における安全面での問題点や改善点などについて意見を交わしました。

その後、現在石岡市内に建設中の当社の太陽光発電施設「石岡府中発電所(仮称)」を訪問し、直接作業に取り組む社員に激励と注意喚起の言葉をかけました。

当社では、今後も継続して事故撲滅に向けた取り組みを積極的に実施するとともに、高品質の工事を提供することで、社会に貢献していきたいと考えています。



写真は、「石岡技術センタ」での朝礼の様子



写真は、意見交換会の様子

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社 協和エクシオ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-29-20 総務部 CSR・広報室

電話:03-5778-1075(直) FAX:03-5778-1228

担当:高柳 圭伸